

# コロナ医療の最前線

医療法人八事の森 杉浦医院

## あなたは大丈夫？ コロナ下の危険な「受診控え」

コロナ感染を恐れ、定期検診やお子さんの定期予防接種など「受診控え」が増えています。今回は、受診を控えることの危険性について、地域医療に熱意を注ぐ杉浦医院院長の森 亮太先生に、パーソナリティで書家の矢野きよ実さんがお話を聞きました。

### 本来、病院は安心を得るために行くもの

矢野 コロナパンデミックから2年、先生の医院ではどんな変化がありましたか？

森 当院でも患者さんが激減し、1日平均30～40人だった来院数が、2020年春には10人足らずとなりました。今も8割減といった状況です。マスク着用や手洗いが感染予防に効果的だと明らかになり、医療機関はコロナ対策を徹底していますが、感染の不安を抱えている方が多くいらっしゃる。病院は安心をもらうためのもの、怖くて行けないなんてあってはならないですね。病院は安全だと知っていただきたいです。

矢野 先生の医院ではどのような対策をされていますか？

森 少しでも熱や風邪の症状がある方には、院内に入る前にコロナの抗原検査を行います。結果が出るまでわずか15分。PCR検査のように翌日まで待つことはありませんから、患者さんにとっても安心できる検査です。

### 受診・検診控えて病気の早期発見を逃す？!

矢野 マスク着用や手洗い消毒、外出自粛などによってインフルエンザなどの感染症が減っている一方、がんなど、他の病気の発見が遅れていると聞きます。

森 そうなんです。2020年のがん診断件数は前年の102万余件から6万件以上も減っています。受診を控える人が増えた影響ではないでしょうか。この状況では、今後がんが進行した

状態で見つかる人が増えることが懸念です。

体の不調を感じても「コロナがもう少し落ち着いたら」と検診を先送りしたり、「コロナのストレスや運動不足が原因?」とごまかさないうこと。ご自身の体調を優先して受診していただきたいですね。

矢野 私も、8年前に何となく体の違和感を覚えて検査をしたら、肺腺がんでした。すぐに手術をして事なきを得ましたが、日本人の2人に1人はがんになるといわれる時代。早期



診療や健康相談によるホームレス支援は先生のライフワーク(ささしまサポートセンターにて)



発見・早期治療が一番ですよ。森 特にがん治療は早期ほど、治療の選択肢も多く、予後が良い傾向があります。他の病気で受診中に偶然がんが見つかるケースも多いので、受診控えは怖いんですね。また、慢性疾患の患者さんで薬がなくなっても1ヶ月以上放置していると、別の症状を生み出す原因にもなりとても危険です。ぜひ通院を欠かさないようにしてください。

### 子どもの定期ワクチン接種、時期を逃していませんか？

矢野 小さなお子さんの定期接種についてはいかがでしょうか？

森 日本脳炎やBCGなどのワクチン接種は適切な期間が定められています。その時期を外すと有料にもなり、病気のリスクを高めてしまう心

配があります。自己判断せずに接種してほしいですね。

矢野 もうひとつ。コロナ下で、子どもたちの心への影響が心配です。休校も続きまし、外遊びも十分にできません。学校の楽しい給食さえも黙々と食べるだけなんて、本当に寂しいですね。

森 その打開策は、やはりコロナワクチンだと思います。2月からは5才以上も接種できるようになりますよ。



きよ実さんの書は、勇気が湧いて元気になれると評判!

### かかりつけ医と「誕生日健診」のすすめ

矢野 病気は早く見つかるほど、治る可能性も高いので、定期的な健診が大切ですね。

森 当院でおすすめしているのは誕生日健診です。毎年誕生日にはレントゲンと血液検査を受けましょう!

矢野 あ、それいいですね! お誕生日には健診しようって。

森 それに、各家庭でかかりつけ医をつくるのが大事だと思います。当院は1965年に開業して私で3代目。ご家族三世にわたって診ていることも少なくありません。家族関係や病歴を把握しながら、ささいな相談も気軽にできるのが町医者よきです。

矢野 コロナ下では、熱が出て心配だけれど診察券を持たない病院からは断られてしまうなど、困っている人も

多いと思います。どうやってかかりつけ医を見つけたいのでしょうか。森 まずは、ご近所のクリニックに相談に行ってみてはどうでしょう。身近に信頼できる医師を見つけておけば、いつでも診てもらえる安心感を得られますから。「手当て」とはよく言ったもので、痛いところに手を当てて、共感することが医療の原点で

す。実際にそれで痛みが和らぐこともあります。そうした関係を築いてもらいたいですね。矢野 この2年でコロナ対策は随分と進み、薬も出てきています。不要な心配はせず、病院には安心をもらいにいきたいものです。一方で、新たな変異株も出ていますので、必要な予防を続けていきたいですね。



聞き手

矢野 きよ実さん

パーソナリティ・書家

名古屋生まれ。15歳でモデルデビュー後、テレビやラジオなど活躍の場を広げている。

17歳で始めた書で表現する独特の世界観が注目を集め、数多くの賞を受賞。現在、医療・災害・教育現場、福祉などの分野からの講演依頼に「生きること」「命の大切さ」を伝えている。

名古屋小児がん基金特別顧問/愛知万博記念災害・救急医療研究会理事/名古屋観光文化交流特命大使/障害者と市民のつどい実行委員会 名誉実行委員長/玄玄書作院常任理事 他

矢野 きよ実  
オフィシャルサイト



答えるドクター

森 亮太 先生

医療法人八事の森 杉浦医院 院長

(内科・小児科・精神科・在宅医療)

1998年 名古屋市立大学医学部卒業。淀川キリスト教病院、名古屋市立東市民病院、国立療養所恵那病院(現・市立恵那病院)、名古屋共立病院を経て、2011年より杉浦医院院長。ホームレスの医療支援や外国人の医療相談、医学生の実習受け入れなど後進の育成にも取り組んでいる。

日本公衆衛生学会/日本プライマリ・ケア連合学会/NPO法人ささしまサポートセンター 理事長/名古屋労災職業病研究会代表/外国人医療センター 理事/名古屋医師会ワクチン・感染症担当理事

杉浦医院HP



森亮太先生のサイン入り著書を5名の方にプレゼント。

### 【長寿大国日本と「下流老人」】

発行/幻冬舎メディアコンサルティング

書籍プレゼント 応募記号

応募要項はP11へ。

なぜ、65歳以上の5人に1人が貧困に陥るのか。その答えは、日本の「手厚い」医療・介護にあった。高齢者の訪問診療に従事してきた森医師が社会に問う、日本医療の現実とその矛盾。

### 名城大学薬学部が開発! 新型コロナウイルスの変異種を短時間で識別可能に

落ち着きませたと思うと現れる新型コロナウイルスの変異株。昨年秋に南アフリカで発見されたオミクロン株が世界中に広がりつつあります。12月の時点で、日本でも市中感染者がじわじわと増えており、今後の状況が心配です。そんな中、名城大学が変異株かどうかを短時間で識別することに成功! 開発したのは薬学部の神野透人教授の研究グループ。これまでにPCR

検査装置と特殊な蛍光色素の試薬を使い、コロナの種類を特定する技術を開発してきました。今回この技術を使い、ウイルス表面の「スパイクたんぱく質」にある遺伝子変異を同時に測定したところ、①変異のないウイルス②デルタ株③オミクロン株の3種類を約90分間で識別できたとのこと! これまでは3日もかかっていたそうですから画期的です。神野教授は取材に対して、

「検査の最前線である衛生研究所などで利用してもらいたい」と話しています。一刻も早い入院・治療が必要なコロナ。終息が見えない今、こういった技術開発や治療の進化に期待したいですね。



短時間で識別できる方法を開発した名城大学薬学部 神野透人教授

名城大学ニュースリリース



清潔で健康な暮らし。クリーニングで大切に着る心... ソフト・ピアグループが支えます!

うれしい3つのサービス

- 年中無休 土日祝も当日仕上げ!
- すそ直しからファスナー取替も
- 洋服のリフォーム
- お誕生日サービス 50% 割引券プレゼント!

お得なプレミアム会員募集中! 詳しくはHP、店頭で

LINE 友達登録でステキな特典をプレゼント! LINE公式アカウント会員募集中

愛知・岐阜に145店舗

お電話: 0587-53-2833

店舗検索はこちら